
	<p>～23区唯一の大規模な群生地「清水山の森」へ、 カタクリを見に行きませんか？～</p> <h2>カタクリの一番花が開花！</h2>	
と き	3月12日(木) 撮影	
と ころ	清水山の森(大泉町1-6)	
<p>12日、23区唯一の大規模なカタクリの群生地「清水山の森」(10,640㎡)で、一番花が開花した。 清水山の森の北向き斜面は、見ごろを迎えると薄紫色のカタクリの花で覆われる。</p> <div data-bbox="1085 425 1476 705"></div> <p data-bbox="1189 705 1372 739">▲今年が一番花</p>		

【開花時限定でカタクリ自生地を開放】

清水山の森は、カタクリの開花時期に限り、カタクリ自生地を開放する。今年、3月13日(金)から4月20日(月)まで開放する。

開放期間中には、毎日9時から17時までカタクリの生態や清水山の森に生育する植物などを説明する「カタクリガイド」が常駐し、希望者は説明を聞くことができる(申込みは現地受付、予約不要)。今年、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、ガイドはマスク着用のうえ解説を行う。また、カタクリの他にもシュンランなどの野草を見ることができ、例年、期間中には約7千人が訪れる。



▲咲き始めのシュンラン

【カタクリについて】

カタクリはユリ科に属する多年草で、冬から早春にかけて陽光が降り注ぐ、湿り気のある落葉樹林に見られる。晴天の日に気温が上がると開花し、夕方には閉じてしまう。また、曇りや雨の日、寒い日は花びらを閉じてしまう。通常北向きの斜面林に多く見られ、武蔵野の面影を残す典型的な雑木林である「清水山の森」でも、北向きの斜面に生えている。

カタクリは、種子から花が咲くまでに7～8年かかり、草丈は10cmほど。2枚葉を出し、2枚の葉から出る茎の先に花をつける。花は通常薄紫色で下を向き、6枚の花びらを外に反り返らせて咲くのが特徴。一株の開花期間は一週間程度で、例年3月下旬から4月上旬にかけて次々に咲き始める。



▲カタクリが群生して咲く様子(去年の様子)

【清水山の森について】

昭和49年6月、区民の方から、白子川流域の斜面林にカタクリが自生しているという情報が区に寄せられ、翌年3月にカタクリがたくさん残っていることが確認された。この貴重な自然を末永く保存するため、区は昭和51年に「清水山憩いの森」として整備を行い一般に公開してきた。平成29年3月、貴重な自然を確実に未来につなげるため、23区唯一の大規模なカタクリ群生地を「清水山の森」として整備した。整備にあたっては、人工物をできるだけ作らず、自然を残した公園づくりとした。

●交通 西武バス・国際興業バス(石神井公園駅北口～成増駅南口、光が丘駅～土支田循環)で「土支田二丁目」下車徒歩約3分

練馬区みどりバス(光が丘駅～保谷駅)で「土支田地域集会所」下車 徒歩約4分(駐車場はありません)

【問い合わせ】練馬区 維持保全担当課 西部公園出張所 電話 03-3904-7557